

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム彩葉(いろは)

目標達成計画

作成日: 令和6年2月27日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	避難訓練の記録には、訓練時の写真、感想、反省点を記録として残しているが、日時、参加職員、入居者内訳等の詳細に記録を残すことが望ましい。又、有事の際の職員の役割分担についても明確に取り決めておく必要がある。	避難訓練の記録を正確、詳細に残すことで、次回の訓練や火災、災害時の際に活かすことができる。災害時等の職員の役割分担を明確にし、有事の際に迅速な対応ができる。	避難訓練の記録は正確な日時、参加職員名、参加入居者がわかるように記載する。役割分担については、既存のものをわかりやすく変更し適切な避難、救護活動ができるようにする。	3ヶ月
2	6	虐待防止への取り組みについて、委員会設置、指針整備、法人内研修を実施しているが、運営規定には未記載であったので、今後、運営規定に「虐待の防止のための措置に関する事項」を明記し、職員や家族に周知して取り組むべきである。	虐待星に関する取り組みを実施、周知することにより虐待への意識向上、虐待の抑止ができる。	虐待防止のための措置に関する事項を運営規定に追加し、入居の際に本人、家族に説明し安心してホームでの生活ができるようにする。職員への周知も行い、虐待防止への意識向上、虐待の抑制ができるようにする。	3ヶ月
3	1	職員はそれぞれ年間目標を掲げているが、目標達成度の確認や振り返りは職員自身で行っている。今後、管理者との面談等の機会を通じて、目標達成度の確認や振り返りの機会を行ことで、より理念の共有と実践に結び付けるようにしたい。	個々の職員が年間目標の設定→実践→目標達成度の評価をし今後のステップアップに繋げることができる。	現在毎月の社内研修の際に設定した年間目標を記載し取り組んでいる。振り返りを個人とするのではなく、管理者等と面談を行い目標達成度や反省点の確認をし今後の能力向上や資格取得等に活用できるようにする。	10ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。